

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 6月
平成31年4月1日の推計人口 1,328,478人
世帯数 561,764世帯
参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和元年6月1日現在の推計人口は、1,328,478人で、前月(1,329,315)に比べ837人の減少となった。

市部では大村市(57)、島原市(21)、松浦市(6)、五島市(4)の4市で増加し、長崎市(△486)、佐世保市(△134)、雲仙市(△56)、平戸市(△54)、南島原市(△44)、壱岐市(△40)、西海市(△30)、諫早市(△27)、対馬市(△21)の9市で減少した。

郡部では長与町(27)、時津町(24)の2町で増加し、川棚町(△36)、新上五島町(△22)、東彼杵町(△13)、小値賀町(△6)、波佐見町(△6)、佐々町(△1)の6町で減少した。

自然動態は、出生数892人、死亡数1,504人で612人の減少、社会動態は、転入者数2,974人(県内転入を含む)、転出者3,199人(県内転出を含む)で、225人の減少となった。

2 世帯数

令和元年6月1日現在の世帯数は、561,764世帯で前月(561,790)に比べ26世帯の減少となった。

(注)

①異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…4月
1人当たり現金給与総額 255,347円
対前月比 2.4%減少
対前年同月比 3.9%増加

1 賃金

4月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額255,347円で、前月に比べ2.4%減少し、前年同月に比べ3.9%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は251,422円で、前月に比べ0.7%増加し、前年同月に比べ3.1%増加した。

特別給与額は3,925円で、前年同月に比べ、1,953円増加した。

2 労働時間

4月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は154.8時間で、前月に比べ3.7%増加し、前年同月に比べ1.2%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は143.1時間で前月に比べ3.6%増加し、前年同月に比べ、1.2%増加した。

所定外労働時間数は11.7時間で、前月に比べ5.4%増加し、前年同月に比べ1.7%増加した。

3 雇用

4月の常用労働者数は227,716人で、前月に比べ3.8%増加し、前年同月に比べ1.3%増加した。

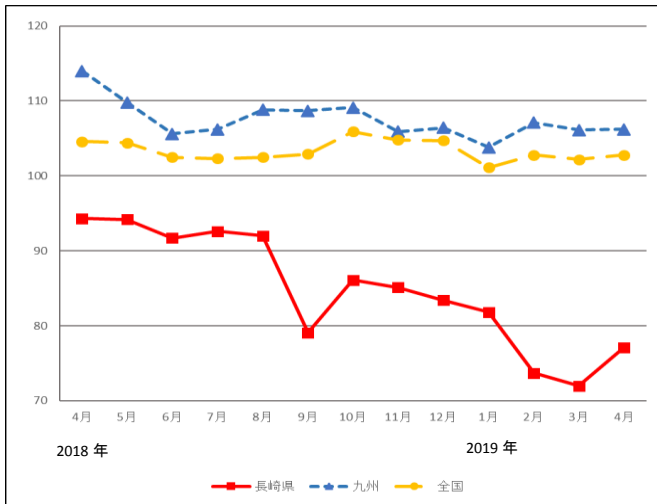
【鉱工業生産指数】…………… 4月

平成31年4月の鉱工業生産指数

(平成27年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	77.1	7.1	77.1	△16.8
九州	106.2	△0.3	102.3	△3.2
全国	102.8	0.6	100.6	△1.1

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



平成31年4月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が77.1で前月比は7.1%の増、原指数は77.1で対前年同月比は16.8%の減となった。

業種別にみると、食料品工業、繊維工業、輸送機械工業など6業種が上昇し、電気機械工業、はん用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業など7業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
食料品工業	29.4	32.0	その他の調味料
繊維工業	23.9	△5.7	漁網・陸上綱
輸送機械工業	21.7	△28.7	新造船

○主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	△15.7	△11.8	交流電動機
はん用・生産用機械工業	△12.7	△72.1	クレーン
電子部品・デバイス工業	△3.8	0.4	半導体集積回路

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 5月

総合指数(H27=100) 102.8

対前月比(%) 0.2

対前年同月比(%) 0.3

令和元年5月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、102.8である。

前月比は0.2%の上昇で、主な上昇要因は「家具・家事用品」の+4.3%、「住居」の+0.4%であり、主な下落要因は「被服及び履物」の△0.8%、「交通・通信」の△0.1%である。

前年同月比は、平成31年2月は+1.6%、3月は+1.3%、4月は+1.2%と推移した後、令和元年5月は0.3%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.1であり、前月比は+0.2%、前年同月比は+0.4%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

家具・家事用品	4.3%
住居	0.4%
食料	0.2%
諸雑費	0.4%

▽下落した費目

被服及び履物	△0.8%
交通・通信	△0.1%
教養娯楽	△0.1%
光熱・水道	△0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 5月

消費支出(一世帯当たり) 402,823円

前月比 118,591円増

令和元年5月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は402,823円であった。

(注) 「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。